

事業所名

瀬戸市のだぞみ学園

支援プログラム

作成日

令和7年

4月

1日

法人（事業所）理念		自分の持っている力を、最大限に発揮し、将来、社会生活に参加していく意欲を育てます。 ・規則正しい生活を送り、健康な身体作りをする。 ・食事、排泄、着脱、清潔など基本的な生活習慣の自立を図る。 ・社会生活への適応力を育成する。						
支援方針		・児童発達支援計画を基に、個別支援を中心とし、保護者と共に発達に応じた療育をする。 ・関係機関や地域、ボランティア等との連携を密にし、協力者・理解者を増やしていく。 ・専門職を含め職員間の情報交換、研修などの機会を多く持ち、職員の資質向上、療育の向上を図る。 ・個々の園児の人格を尊重し、「心」を育てる療育を心がける。 ・児童福祉法、児童福祉法に基づく指定通所支援の事業の人員、設備及び運営に関する基準、瀬戸市児童発達支援センターに関する条例、瀬戸市児童発達支援センターに関する条例施行規則、その他の法規に基づいて、事業の適切な運営を行う。						
営業時間		9時	30分から	15時	30分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支援内容								
本人支援	健康・生活	・食事の習慣、水分補給、トイレトレーニング、衣服の着脱、身だしなみを整える、片付けや整理整頓など日常生活に必要な力を養います。						
	運動・感覚	・ホールあそび(トランポリン、マット、階段、巧技台、感覚統合遊具など) ・戸外あそび(滑り台、ブランコ、三輪車、砂あそびなど) ・散歩。 ・感触あそび(新聞紙あそび、スライムなど) ・夏のあそび(水あそび、プールなど)。						
	認知・行動	・製作あそび(シール貼り、お絵描き、ぬりえ、はさみ、スタンプなど)、楽器あそび、サーキットあそび、パズルなど。						
	言語 コミュニケーション	・朝の会や帰りの会で、絵本やペープサートを使用した歌、手あそび、楽器あそびなど。 ・ままごとあそび、ごっこあそびなど。						
	人間関係 社会性	・友だちや職員と物の受け渡し、お話ごっこやサーキットあそびで順番を待ったり、友だちや職員とのやりとりの経験。 ・朝の会や帰りの会での当番活動など。						
家族支援		・親子関係を確認し、学園での支援場面の共有、保護者同士の交流の場として、月に1回程度親子通園を実施しています。 ・クラス懇談会、個人懇談、療育講演会などを通して、家族支援をしています。			移行支援		・保育園、幼稚園への転園希望児に対して、隣接する南保育園での交流を実施しています。 ・転園や就学に関して、引き継ぎ書を作成し、保護者の同意を得て、移行先に渡しています。	
地域支援・地域連携		・隣接する南保育園や地域の老人ホームや中学校へ散歩に行く機会を設けています。また、学生ボランティアの受け入れや、地域の音楽ボランティアの方に演奏会の実施、地域の理髪店の方にヘアカットしてもらう等、様々な方との関りを通して人間関係や生活経験を広げています。 ・地域のあそび場(交流館、おもちゃ図書館)や市外への親子遠足など、お出掛けの機会を設けています。			職員の質の向上		・各種研修の実施。 ・専門スタッフ(整形外科医、PT、OT、ST)からのアドバイスを療育に生かしている。	
主な行事等		・入園式 ・クラス懇談会 ・就学相談 ・七夕会 ・療育講演会 ・夏まつり ・遠足 ・みんなであそぼう会 ・クリスマス会 ・新年お楽しみ会 ・豆まき会 ・のだぞみ展 ・ひな祭り会 ・お別れ会 ・卒園式 (親子参加の行事もあります)						